

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年 10月31日



本日のプレゼンテーション

- 2014年3月期 第2四半期連結決算概要
- 2014年3月期 連結業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 新製品売上高比率の目標
- 研究開発 設備投資
- 財務状況



(億円)	13年3月期	14年3月期	前年同期比
売上高	1,217	1,380 1,418	+17%
営業利益	113	140 197	+74%
経常利益	80	140 196	+146%
四半期純利益	12	90 126	+995%

□ は13年7月公表値

前年同期比 増収増益

為替円安が売上高、営業利益、経常利益に寄与

- セラミックス 米国・中国・国内市場の自動車関連製品需要が大幅増
- 電力関連 NAS電池の海外案件向け生産により赤字縮小
- エレクトロニクス 電子部品の低迷続くも半導体製造装置用製品の需要増



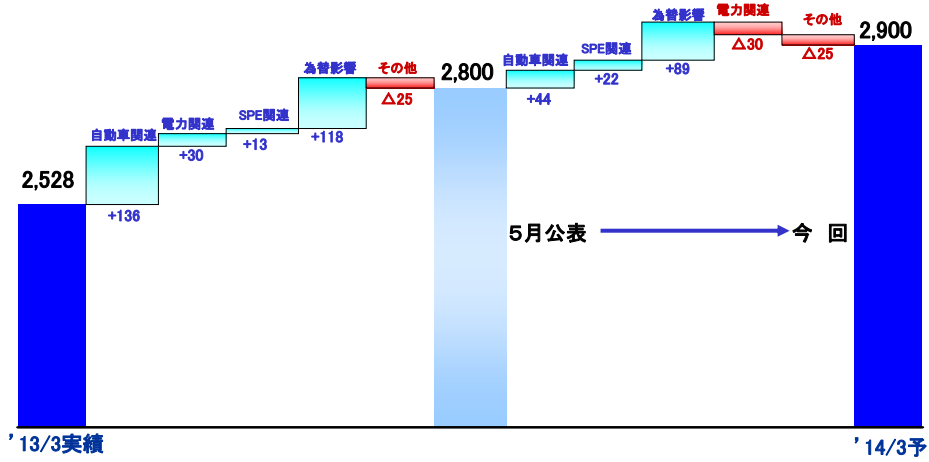
(億円)	13年3月期	14年3月期	前期比
売上高	2,528	2,800 2,900	+15%
営業利益	207	280 340	+64%
経常利益	220	290 360	+63%
当期純利益	114	220 250	+119%

□ は13年5月公表値

前期比 増収増益の見通し

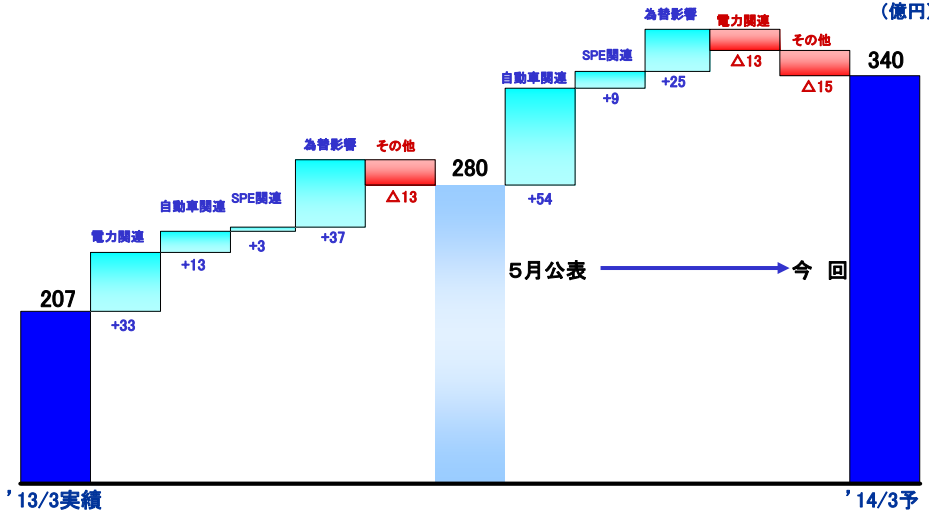
- セラミックス 引き続き堅調。ただし、ディーゼル関連製品の新規排ガス規制に対応した需要立ち上がりは、当初想定を下回る見通し。
- 電力関連 下期にNAS電池の出荷計上を予定
- 下期為替 ドル95円、ユーロ125円を前提

(億円)



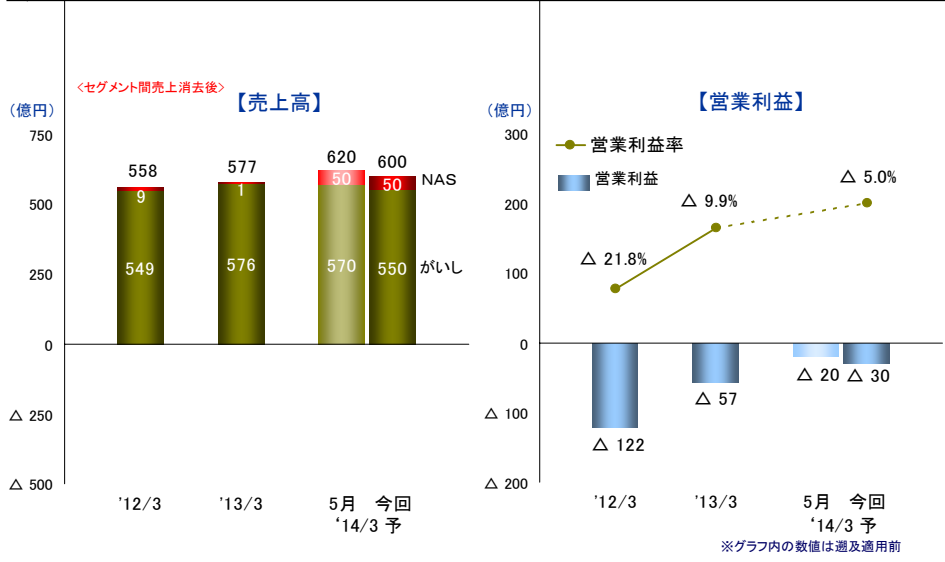
	前期('13/3)	5月公表('14/3)	今回('14/3)
為替レート	83円 /US\$ 108円 /ER	90円 /US\$ 120円 /ER	97円 /US\$ 127円 /ER

(億円)



	前期('13/3)	5月公表('14/3)	当期('14/3)
為替レート	83円 /US\$ 108円 /ER	90円 /US\$ 120円 /ER	97円 /US\$ 127円 /ER

- がいにし 国内は電力会社の設備投資抑制が継続。海外は一部案件が当期から来期に繰延。
- NAS 海外案件の進捗は予定通り。アラビヤ向けは当期より、イタリア向けは来期より出荷を見込む。



- ・平成25年度「再生可能エネルギー余剰電力対策技術高度化事業」の補助事業に選定
- ・2020年度までに蓄電池価格を、揚水発電並みの2万3千円/kWhに低減する目的

選定企業、対象技術

日本ガイシ: NAS電池

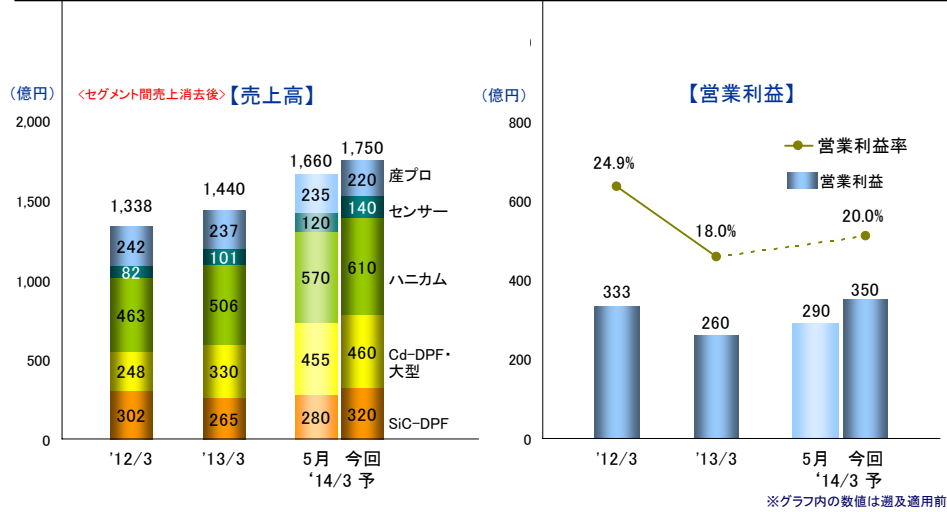
住友電気工業(代表申請者)他2社: レドックスフロー電池

NAS電池とレドックスフロー電池の性能・特徴比較

	実質エネルギー密度	運転温度	期待寿命	特徴
NAS電池	130Wh/kg	高温	15年	・エネルギー密度が高く、コンパクト ・モジュールの直並列化により大容量化が可能
レドックスフロー電池	10Wh/kg	常温	6~10年	・常温で作動し、充放電サイクルに制限がない ・構造が単純で大容量化が可能。

※経済産業省 蓄電池戦略プロジェクトチーム資料「蓄電池戦略」(2012年7月)を参照し当社作成

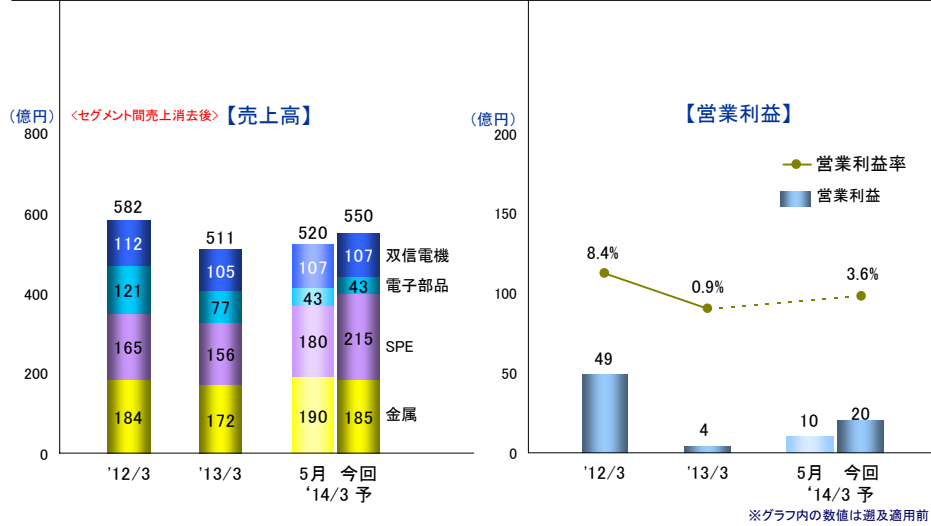
- 自動車関連 米国、中国、国内市場での自動車関連製品需要が堅調
新規排ガス規制に対応したディーゼル関連製品の需要立ち上がりは弱いものの
排ガス規制強化のトレンドは継続
- 産業プロセス 電子、電材分野等での設備投資低調



		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
乗用車	日本	ポスト新長期				(ポストポスト新長期)				
	米国	Tier2/Bin5				(Tier3)				
	欧州	Euro5				Euro6 (Euro7)				
	中国	Euro4		Euro5			(Euro6)			
	インド	Euro4(13都市)、Euro3(その他)				Euro4				
トラック バス	日本	ポスト新長期				(ポストポスト新長期)				
	米国	US10				(US16)				
	欧州	Euro V		Euro VI			(Euro VII)			
	中国	Euro III		Euro IV			(Euro V)			
	インド	Euro IV (13都市)、Euro III (その他)				Euro IV				
オフロード 建機・農耕機など	日本	JP11		JP14		(JP17)				
	米国	Tier4a		Tier4b		(Tier5)				
	欧州	Step3		Step4		(Step4b)				

※2013年度は猶予措置あり

- 半導体製造装置用セラミックス(SPE) モバイル製品の需要増を背景に、半導体メーカーが設備投資を前倒し
- ベリリウム銅展伸材(金属) 中国、インド市場の拡大を見込むも市況回復に遅れ。価格競合も継続
- 電子部品 プリンター用部品・照明部品ともに低迷
双信電機(ノイズフィルター等)は堅調に推移



	複合ウエハー	窒化ガリウム(GaN)ウエハー
特徴	異なる材料のウエハーを貼り合わせることで、次世代携帯端末に必要な、高機能通信機部品を安価に作製することが可能	ウエハーの大口径化と、低欠陥を両立。消費電力を50%以上削減できる高輝度LED光源の実現が可能
適用先	<ul style="list-style-type: none"> ・LTE対応SAWフィルター ・周波数切替IC ・基地局用信号増幅IC 【ウエハー市場規模】 200億円(2017年)	<ul style="list-style-type: none"> ・高輝度 青色・緑色LED素子 ・高出力 青色・緑色レーザー ・次世代パワー半導体 【ウエハー市場規模】 700億円(2017年)
最終用途	 スマートフォン タブレット端末	 ビジネスプロジェクター ヘッドランプ 店舗照明 電気自動車
進捗	搭載のスマートフォン、来年上市予定	大手LEDメーカー数社で製品化に向け評価中

新製品・新規事業創出に取り組む

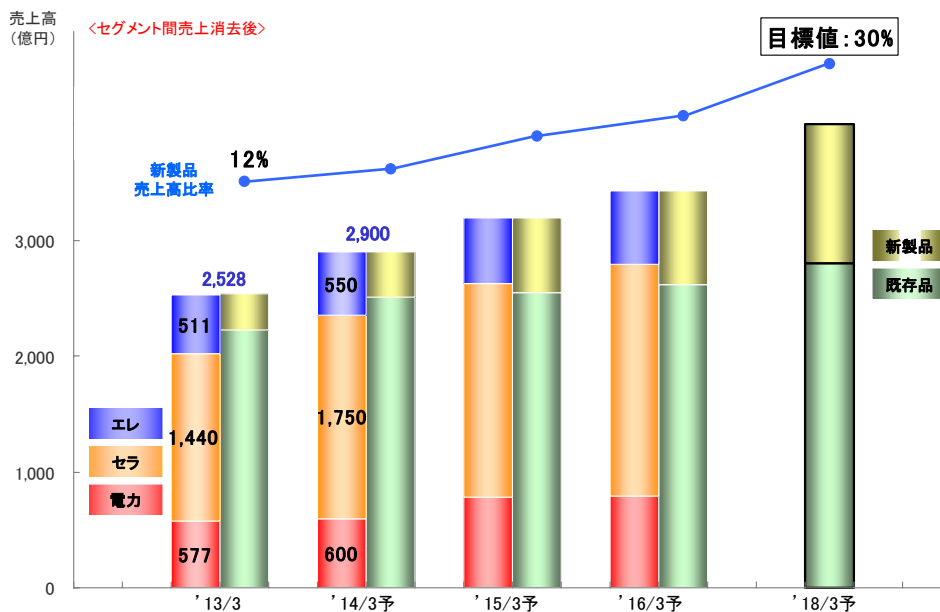
- ▶ ウェハー新製品の早期事業化
- ▶ 新製品探索強化

既存事業の収益性を強化する

- ▶ 赤字事業の黒字化（がいし、NAS、産業プロセス、電子部品）
- ▶ 強い事業の更なる強化（ハニカム、DPF、SPE）

ムダの徹底的な排除 ～筋肉質な事業体質へ

- ▶ 資産の圧縮（在庫の削減、投資のミニマム化など）
- ▶ コストダウン（製造・間接部門）



サブナノセラミック膜(分離膜)

分子サイズの「ふるいの目」を持つ独自のDDRセオライト膜

分子を大面積で「ふるい分け」ことができ、例えば、天然ガス、シェールガス、バイオガス等から、不要成分であるCO₂ガスを除去可能。膨潤するため高分子膜の適用が困難な高CO₂濃度ガスを当社セラミック(DDRセオライト)膜で分離。



SOFC(固体酸化物形燃料電池)モジュール

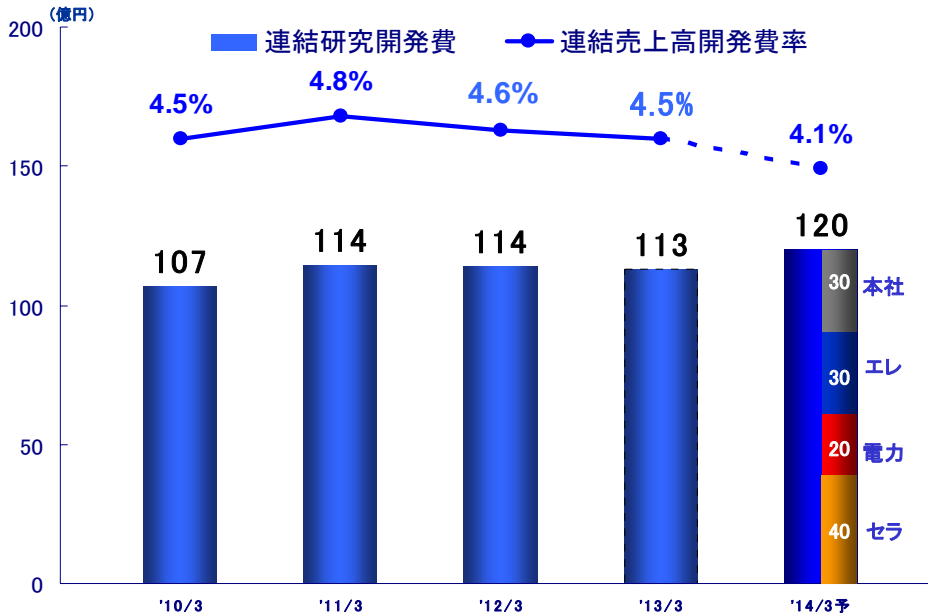
現行の燃料電池より高効率発電が可能で、貴金属が不要な、高電圧型セラミックス製発電モジュール

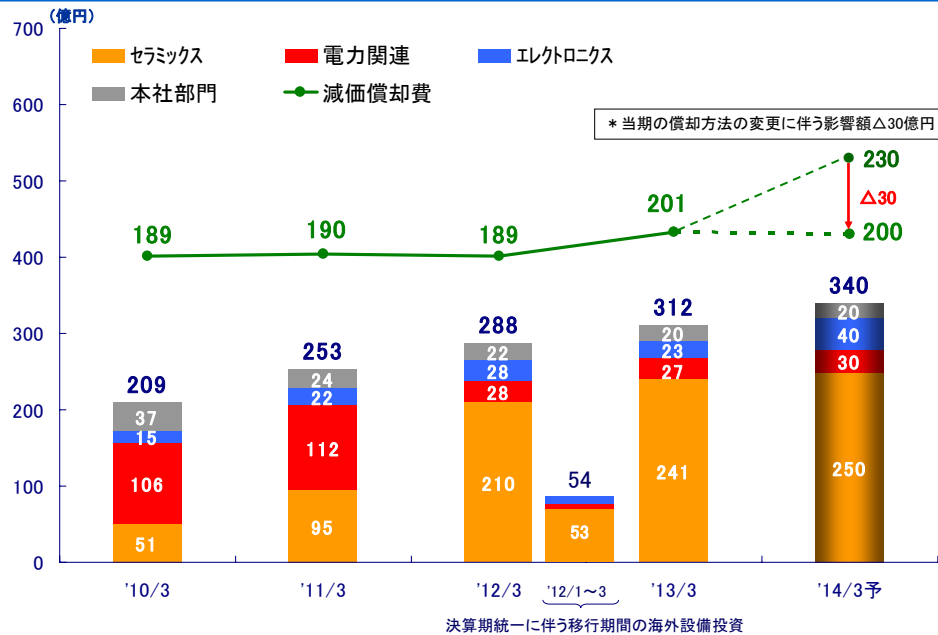
家庭用に導入が始まった燃料電池では、高分子膜を用いた発電モジュールの発電効率向上と、高価な貴金属の不使用化が課題。発電効率がより高く、貴金属が不要な次世代型燃料電池(SOFC)に向け、セラミックス製発電モジュールの開発競争が活発化。当社のSOFCモジュールは、高電圧・低電流で高効率発電が可能な独自デザインであり、高耐久性との両立が可能。

次世代蓄電池向け先進的セラミック材料・部材

現行リチウムイオン電池の性能を飛躍的に上回る次世代蓄電池向けの高速イオン伝導性正極材・電解質

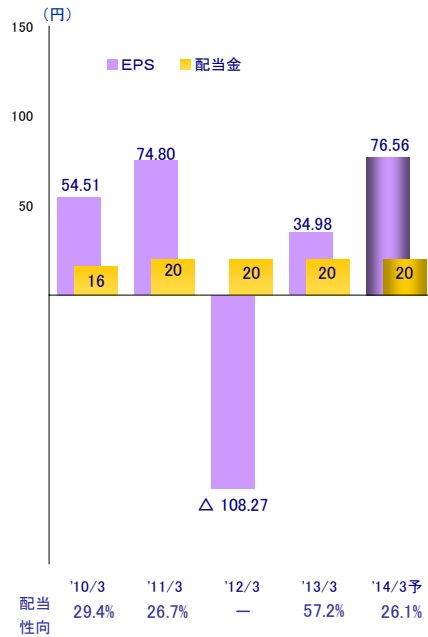
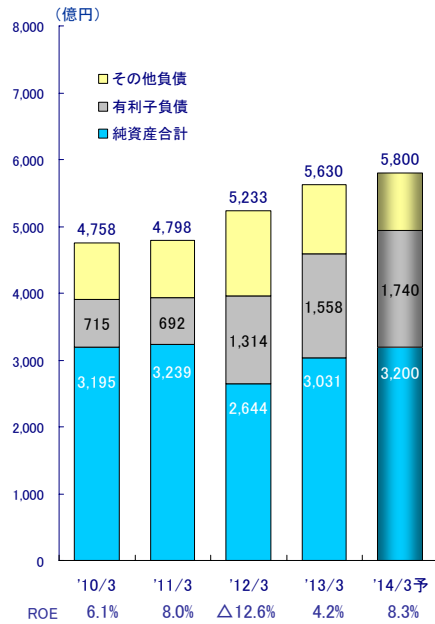
全固体電池：当社独自のセラミック材料により全てが固体で構成され、薄型化、小型化、表面実装が可能。
薄型積層構造により高エネルギー密度が得られ、携帯機器や無線IC用電源等への適用を検討。
金属-空気電池：充放電に必要な酸素を電池外(空気)から選択的に取り込むセラミック電解質を用いることにより、飛躍的に高いエネルギー密度が可能。車載用途他への適用を検討。





(億円)

	'12/3	'13/3	'14/3予
営業活動によるキャッシュ・フロー	139	37	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△454	△6	△340
財務活動によるキャッシュ・フロー	566	124	80
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	29	-
現金及び現金同等物の増減額	221	184	△60
海外グループ会社決算期移行期間 ('12 / 1 ~ 3) の増減額	-	△7	-
現金及び現金同等物期末残高	851	1,028	968



<セグメント間売上消去後>

(億円)

	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期(予)
が い し	586	549	576	550
N A S	△48	9	1	50
電力関連合計	538	558	577	600
ハニカム	480	463	506	610
S i C - D P F	295	302	265	320
Cd-DPF・大型ハニカム	190	248	330	460
センサ	53	82	101	140
産業プロセス	220	242	237	220
セラミックス合計	1,238	1,338	1,440	1,750
金属	186	184	172	185
半導体製造装置セラミックス	167	165	156	215
電子部品	147	121	77	43
双信電機	117	112	105	107
エレクトロニクス合計	617	582	511	550
全社合計	2,394	2,478	2,528	2,900

※上表の数値は遡及適用前

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	13年3月期		14年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
がいし	267	309	268	282
NAS	0	1	0	50
電力関連合計	267	310	268	332
ハニカム	247	259	315	295
SiC-DPF	130	135	169	151
Cd-DPF・大型ハニカム	160	170	237	223
センサー	47	54	72	68
産業プロセス	101	136	79	141
セラミックス合計	685	755	873	877
金属	87	85	91	94
半導体製造装置セラミックス	80	76	104	111
電子部品	45	32	28	15
双信電機	53	52	55	52
エレクトロニクス合計	265	246	277	273
全社合計	1,217	1,311	1,418	1,482

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>